

愛知県教員採用試験の感想

(盲・聾・養護 中・高・国語)

1、勉強時間、方法について

私は愛知出身者ではないのですが、愛知出身の友人から願書をもらい(出願期間が遅い、採用数が多いなどの理由から)愛知を受験しました。同じ学校の友達と一緒に遠征組みで受験しました。

教員採用試験も今年で3回目。本当に毎年、夏は大変な季節です。採用試験の勉強は、ほとんど特殊教育のことについてしかやりませんでした。

一般教養や教職教養は捨てた・・・。

それでも一次を通過できたのは、養護学校の教員免許があったからかなと思います。

2、1次試験について

筆記試験は、案の定、できませんでした。でも、一般教養、教職教養、専門教養はマークシートだったので、きちんと勉強した人は必ずできる問題でした。問題もそれほど難しくはなかったと思います。私は、基礎免許が国語なのですが、今は特殊教育について勉強しているので、国語科の勉強と離れて二年、跡形もないくらい国語は忘れ去られていたので大変でした。

愛知県は、盲聾養護学校の区分でも基礎免許のほうが優先されるので(養護学校の資格がなくても受験できるし)専門科目は国語だったのです。

お昼からの集団面接は、待ち時間が長かったので(3時間くらい待たされた)心の準備やシュミレーションができました。面接は、5人一組で面接官は3人。一人の面接官が、すべての質問をし、後の二人はメモを取っていました。内容は、

- ・ 障害児教育を志望したきっかけは？
- ・ 教員として大切なこと。(そのためにどんな努力をしているか)
- ・ 今までの経験からそれをどう実践するか。
- ・ これから生きていくうえでの信条
- ・ 親や児童生徒から信頼される教員に必要なもの
- ・ それをどう分かってもらうか

以上です。結構、基本的なことだったので(答えることも大体用意してあった)安心しました。私は、3回くらい張り切って一番先に挙手をし答えたのですが、雰囲気的におっとりした感じでしたので私はちょっと浮いていたかもしれません。でも、あまり曖昧なことを言ったりすると突っ込まれます。私は、信頼される教員に必要なものを聞かれて抽象的な答え方をしてしまったら、さらにそれをどう分かってもらうかということさらさら聞かれました。友達と一緒に面接の練習をしているときと本番でもスムーズに答えられると思います。後でわかったことですが、私のグループの合格者は、私を含めて2人でした。

3、2次試験の勉強方法

(ここからは、話半分に聞いてください。まだ2次の結果待ちの時に書いているので)

「筆記ができなかったので、受からない!」と思っていましたが、合格してしまいました。愛知県は、合格者の受験番号をネット上に公開しているのので、通知が届くのより先に、合格したことを知ることができました。ちなみに私が受験した盲聾養護学校・中・高の国語は30人中9人が合格しました。大体1/3の確率で合格しているみたいです。

二次の対策としては、論文(個性を生かすにはどう指導するか)と面接の練習(教員を志望した理由、養護学校を選択した理由、自分の長所、短所、理想の教師像、愛知県を受験した理由、いじめの対応について、などなど)をしました。私は、ノートにまとめてすらすら言えるように練習しました。

私は、愛知県の出身ではないので試験会場場所についてもわからなかったのので、二次試験の会場の下見を試験前日にしました。駅から結構離れている会場もあり、下見をしていてよかったです。

4、2次試験 1日目

クレペリン検査・・・すごい必死になって計算したんですけど、終わってみて1行の4割ぐらいしか、計算できなかったです。でも周りの人や友人は7割ぐらいは普通にできたそうです。クレペリンは、人格なんかをみる検査らしいです。

専門教養・・・1次はマークシートだったのが、2次では全部記述でした。説明文、小説、古文、漢文で、大学入試みたいな問題でした。時間が足りなくて(時間があってもだめだったと思うけど)、漢文にはたどりつけなかった・・・。

小論文・・・字数は800字で縦書きの原稿用紙でした。テーマは、**ストレスを溜め込んでいる子どもたちについて**。

例文として誰かが書いたコラムみたいのが載っていた。

漢字のテストでたった1問間違えただけでも自分が許せなくて、答案用紙をびりびりに破いて捨ててしまう子ども、自分ができないことに出くわすとパニックを起こす子ども、すぐ暴力を振るう子ども、注意されるとふてくされて机の下にもぐってしまう子ども・・・。

小学校の低学年からテストの点数に過敏に感応し点数のことだけしか考えない子ども、すぐに「どうせぼくはばかだから」「ぼくにはできない」とあきらめてしまう子ども、低学年のうちから自己肯定感が持てない子どもが増えている。

私は、盲聾養護学校志望なので、そっちにつなげなきゃと思い、勝手に ADHD などの軽度発達障害の子どもとつなげて書きました。例文があったので、序論でそれに対する自分の考えを書いたらつい長くなってしまい、序論が長い頭でっかちの論文になってしまいました。まとめがたった 3 行分しか書くスペースがなかった。

5、2 次試験 2 日目

集団討議・・・テーマは「**美化活動について**」でした。他のグループでは、「不登校について」「児童殺傷事件について」というところもあったようです。私のグループは、講師の人や社会人で、現役は私を含めて 2 人。それぞれ名前ではなくアルファベットで呼び合います (A~H まで)。円になって座り、それを取り囲む感じで面接官が 3 人、座ります。受験者の 1 人が司会のようなことをしてくれたので割に討議がスムーズにできました。受験区分と関係なく討議するため色々な校種の人があります。私と同じ養護学校希望の人は、2 人ぐらいしかいなかった。

個人面接・・・集団討議で思いっきり緊張していたので、個人の時はちょっと疲れてしまったのか、緊張はあまりしませんでした。質問は、以下のとおりです。面接官は、3 人でそれぞれが質問しました。

- 1、 **愛知を受験した理由、愛知県の教育で興味のあるもの。(他県受験者のみ)**
- 2、 **養護学校を志望した理由**
- 3、 **ノーマライゼーションとは？それを学校現場でどう生かすか。**
- 4、 **ボランティアをするより勉強をしたほうが良いという人に対してどう答えるか。**
- 5、 **教師として大切なもの 3 つ その中で自分が一番自身のあるもの。**
- 6、 **教育実習で学んだこと。**
- 7、 **愛知は広くて、勤務地もさまざまであるが僻地でも大丈夫であるか。**

いくつか自分の考えをまとめておいたことが出たので割合に慌てずに答えられたと思います。1 次のおときと同様、曖昧な答えをすると突っ込まれます。養護学校の枠なので、特殊教育についての質問があります。養護学校の免許を持っていなくて、受験される方は特殊教育について少し勉強されることをお勧めします。

体力測定・・・踏み台昇降 (3 分間の上がり下がりした後耳に測定器を付けて測定)、反復横とび (20 秒間)、上体起こし (腹筋 1 分間に何回できるか) の順番でやります。年齢制限が 40 歳までなので、年配の方は結構辛そうでした。踏み台昇降の 3 分間の上り下りができなくて、早めに終了している人や皆から遅れてしまい監督の先生から「遅れないように」と何度も注意されている人もいました。腹筋は、腕を

頭の後ろでしっかり組んで立てひざ（足は体育の先生らしき人が押さえてくれます）背中もしっかり床（マットが引いてありその上でやるのですが）に着くように、起き上がるときは肘が膝につくようにと注意されました。

忘れていた部分もあるかもしれませんが、大体こんな感じでした。結果が分かるのが10月なので本当にドキドキです。初めて遠征をして他県を受けてみて、驚いたことも多かったです。私は友達と一緒にいったので、旅行みたいで楽しかったです。合格するかどうかわかりませんが、他県受験も色々な発見があってよいものだと思います。何より、2次までいけたのが嬉しかったです。初めてだったので。集団討議や論文など勉強になりました。愛知は本当によいところです。